

2008年12月10日

製造業者宛

現在関心のある分野

2002年5月にR&Aと全米ゴルフ協会(USGA)によって発行された原則の共同声明によると、用具規則の目的は、ゴルフの良き伝統を守り、プレーヤーの技量よりも用具の技術的進歩に過度に頼りすぎることの抑制し、プレーヤーの技量がゲームを通しての主要な成功の要素であることを確保することです。そうであるために、R&Aは継続的に規則の妥当性と有効性を精査しており、ゴルフ用具についての研究が行われています。近年、ゴルフボール、溝、そしてクラブヘッドの慣性モーメントなど様々な事柄について研究が行われていることを私たちはあなた方に告知してきました。私たちはクラブの調節性の規則を見直すことに関心を持っていたこともあなた方に告知しました。一部(すべてではない)については、その研究は規則変更の提案、「告知とコメント」期間、そして最終的に用具規則の変更へと導きました。

この手紙の目的は、R&AはUSGAと協力して、大きいロフト角を有するウエッジについてのいくつかの研究を行うことを計画していることを製造業者に通知することです。これは、例えばロフト角が60度を超えるクラブがグリーン近くでのショットでゲームのチャレンジ性を減じるのかどうかを決定するための研究です。

現時点でこのプロジェクトのさらなる詳細は得られませんが、現段階で正式な提案は出されていないことは強調されなければなりません。このウエッジのロフト角についての研究が実行され、R&Aが新しい規則、あるいは修正された規則が望ましいという結論に至った場合、特定の提案についてコメントを述べる機会を製造業者に確実に与えるために、通常の「告知とコメント」期間が設けられるでしょう。

この問題について、それまでにコメントがある場合には、どうぞ私までご連絡ください。

敬具



DR STEVE OTTO
Director - Research and Testing

ES2008GCM